



全日本選手権 レース結果報告書

DOG FIGHT R

株式会社ドッグファイトレーシング

2014年11月

レース

Race

•ランキング9位で迎えた今季最終戦のMFJグランプリ・鈴鹿。シーズン序盤に一から始まったセットアップも中盤戦にはまとまりだし、後半戦は光る走りを随所に見せられるようになってきた藤田。今年の走りの集大成として迎えた鈴鹿大会では、ドライで8秒台を目標に、そして得意のウエットでは表彰台を目標に臨みました。またランキングでも前との差も詰まっていたので、2ヒートのレースで一気に逆転し昨年以上のランキングを目指しておりました。木曜日に特別スポーツ走行が追加され、ドライコンディションで走行する事が出来ましたが、週末の予報は雨となり、短い期間中にドライ、ウエットと変わる中でセットアップを詰めてゆかなければならず、チーム力も問われる大会となりました。スーレのそ結果すをご報告致します。

トンベイ名 : 全日本選手権 第8戦
開催日 : 2014年11月2日
開催地 : 鈴鹿サーキット(三重県)
観客動員 : 20500人(土日)

スーレ結果

JSB1000 #33 藤田拓哉 予選3位 決勝1 13位 決勝2 8位



公式練習・予選

Race

公式練習

真夏の鈴鹿8時間耐久以来となる鈴鹿ですが、一気に寒くなった走行環境により、夏のセットアップのままでは通用するはずもなく、エンジン、車体、タイヤなどすべての要素を見直して藤田は木曜日の貴重なドライ路面での走行を続けます。走り出しのフィーリングは良好で、まずまずのタイムを刻む藤田はドライコンディションとなった初日の走行を総合12番手で終えた。翌日は朝から雨が降り出しそうな天候。午前中はかろうじてドライコンディションで走る事が出来たが、午後はしっかりと雨になりウエットコンディションでの走行。このセッションで藤田は順調にマシンセットを進め自身初となるセッショントップタイムを記録。雨が続く予報の週末に向け上々の仕上がりを見せました。

公式予選

公式予選は朝からの雨でフルウエット状態。今回も予選はノックアウト方式となり、トップ10だけが次のセッションに進めるが、今の藤田はノックアウト通過が目標ではなく目指すはポールポジション。最初のセッション(Q1)を3番手と自己ベストを更新した藤田は、続くセッション(Q2)に向け、車体セットの微調整を行い、前後タイヤも新品に交換してコースイン。早々にトップタイムを記録してリーダーボードのトップに名前を刻むが、最強の敵である中須賀選手がすかさずトップを奪い返してくる。それでも周回ごとにタイムアップを見せる藤田は予選終了間際の最終アタックで、コース序盤で圧倒的タイムを記録して中須賀選手を0.5秒以上上回り念願のポール獲得かと思われましたが、中盤に大きくりヤタイヤを滑らせてしまいタイムロス。惜しくもポールポジションは逃しましたが公式予選3番手と自己ベストを大きく更新する走りで観客を盛り上げてくれました。

決勝

Race

決勝1

最終戦は2ヒートのレースが開催されるため、午前中にヒート1が開催される。雨は前日の夜半に上がってしまいコースはライン上がドライコンディションの状態。勿論全車がドライタイヤを履いてコースイン。初のフロントローからスタートした藤田は心配されたスタートを決めて4番手で1コーナーに進入。オープニングラップは6番手で通過とファクトリー勢に割って入り踏ん張りますが、詰め切れていないドライセットや、トップスピードで大きく劣る状況で、徐々に順位を落としてゆきます。結果ヒート1は13番手でチェッカーと力を発揮できないまま終わることになりました。

決勝2

午後に行われるヒート2。天気予報では決勝前に再び雨の予報となっており、その通りに決勝の1時間ほど前から強い雨が降り始め路面は完全なウエットコンディションに。藤田にとって恵みの雨が降り、俄然チャンスが巡って参りました。マシンセットアップも固まり、藤田もコンセントレーションを高めて臨んだ決勝ヒート2。雨は上がったもののウエットコンディションとなった状況の為、周回数が10周と大幅に縮小されてスタートが切られました。藤田は上々のスタートを決めて1コーナーに3番手で進入。途中1台に交わされますが4番手でトップを追いかけますがバックストレートで一気に2台に交わされオープニングラップを6位で通過。3周目には柳川選手に交わされ7番手に落ちますが、次の周に再び柳川選手を交わして6位に浮上と意地を見せてくれました。それでも再びストレートでかわされコーナー侵入で蓋をされてしまいます。コーナーリングスピードでタイムを稼ぐ藤田にとっては厳しい展開が続き、コーナー脱出で無理をすることになり何度となくリヤタイヤを大きくスライドさせながら懸命に前を追いますが徐々に離されて行き、自身も走りのリズムを崩してしまいレース終盤に失速。最後は後続に交わされ8番手でチェッカーを受けました。

全日本選手権ランキング

JSB1000 クラス

チームランキング **9位**

藤田 拓哉 ランキング **9位**

	開催地	観客数	天候	予選	決勝	藤田ベスト タイム
Rd.1	鈴鹿サーキット	13000	雨	13位	リタイヤ	2'10"970
Rd.2	オートボリスサーキット	50000	晴	10位	8位	1'50"784
Rd.3	ツインリンク茂木	6500	晴	12位	9位	1'51"971
Rd.4	スポーツランドSUGO	3250	雨	10位	7位	1'36"817
Rd.6	オートボリスサーキット	20780	晴	9位	8位	1'50"524
Rd.8	岡山国際サーキット	5500	晴	10位	9位	1'30"624
Rd.9-1R	鈴鹿サーキット	20500	曇り	3位	13位	2'11"212
Rd.9-2R	鈴鹿サーキット	20500	小雨	3位	8位	2'19"720

【藤田拓哉全成績】

総括

Summary

今回の最終戦では予選であわやポールポジション獲得寸前までいく大活躍を見せてくれました。ファクトリーを蹴散らす走りに大変多くのメッセージや応援を戴き、日曜日のピットウォークではサイン待ちの列が切れることなく続く大盛況となりました。

決勝は期待が大きかった分反動も大きかったのですが、いつもはスタートとともに上位陣から離されていたので、今回はフロントローからスタート出来たことで藤田は貴重な経験を積むことができました。上位陣のレース序盤の走りを初めて体験したレースとなった今大会で、藤田は何を感じ、何を得たのか。それを糧にしてさらなる成長を望むところであります。

MFJインフォメーション http://www.superbike.jp/news/2014/11/q1q2_2.html

来季は常に今回のようなポジションから戦えるようチーム力を更に高めて臨む所存でおりますので、ご支援、ご声援のほど、引き続き宜しくお願い申し上げます。

ドッグファイトレーシング
代表 室井秀明

ギャラリー

Gallery



株式会社ドッグファイトレーシング
代表 室井 秀明

〒271-0061

千葉県松戸市栄町西4-1195-4

TEL047-703-3030 / FAX047-308-1122